

テーマ：種類

ねらい

- ① 種類ごとにアイテムを分けることができる。
様々なテーマで分類することができます。
種類を判断して正しく分類しましょう。

例1：生徒は同じ種類のものを集めるためにVOCAで分類します。

使用するVOCA：アイトークウィズレベル



支援者はVOCAに
絵記号を貼り付け、各ボタンに
「同じです」と「違います」
を録音します。
表に3つの選択肢を貼り付け、
そのうちの1つを指し、
「どれがここに来ますか？」と聞き、
分類されたアイテムを指して
「これは同じですか？」と聞きます。
選択肢：分類するために
複数のVOCAに「同じです」、
「違います」を録音します。



生徒は指定された場所に
当てはまるアイテムを
選びます。
生徒はVOCAを使用して、
支援者の「同じですか？」
の質問に「同じです！」か
「違います」で答えます。

例2：生徒はVOCAを使用して同じものを分類してコンテナに入れます。

使用するVOCA：リトルマック



支援者はVOCAに「同じです！」と録音します。支援者はトレー/机の左右にコンテナを1つ置きます。1つのコンテナにアイテムを置き、指さして、生徒の返答を待ちます。選択肢：コンテナを生徒の膝上のトレーか机の端の下に置きます。



生徒はVOCAを使用して同じものを示し、適切なコンテナにアイテムを入れます。選択肢：膝上のトレー/机からアイテムをコンテナに入れます。

例3：生徒はVOCAを使用して、分類するカテゴリーを選びます。

使用するVOCA：オールターンイットスピナー / アイトークウィズレベル



支援者はオールターンイットスピナーのシートを2つのカテゴリーに分け、分類のためにラベルを貼り付けます。支援者は3つの選択肢を表に貼り付け「どれがここですか？」と聞きます。支援者はアイトークに「同じです！」、「違います」と録音します。支援者は「これは同じですか？」と生徒に聞きます。



生徒はスピナーを回してカテゴリーを選びます。生徒は選んだカテゴリーに分類されるように表からアイテムを選びます。生徒はアイトークを使用して、支援者の質問に「同じです！」「違います」で答えます。選択肢：支援者ではなく仲間と分類を選びます。

ポイント



- ▶ 最初は赤色と青色や、りんごとバナナなどのわかりやすい2種類を分類しましょう。
- ▶ 慣れてきたらもう少し大きいカテゴリーで分類してみましよう。例えば、いくつかアイテムを用意して、野菜と果物に分類するなど。